

1. 内政

- ・22日、ハダルカ自由党改革派グループ代表は、秋に同グループは独自の政党を結成する意向である旨発言。
- ・23日、コルマン議会議長は、ガガウズ自治共和国議会代表と会談し、地域の社会・経済及び政治情勢、自治権の保障及び中央政府との協力問題等に関し意見交換。

2. 経済

▼EBRD関係

- ・23日、EBRDは、レアンカ首相を議長とするビジネスコミュニティ、政策立案者及び市民社会の間でのハイレベルな意思決定のための経済諮問会議を設置する予定である旨発表。また、同会議が、モルドバのビジネス環境発展に向けた障害を削減するとともに新しいツールを導入するのに役立つであろう旨説明。

3. 外交

▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相の東方パートナーシップ外相会合出席

- ・22日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ブリュッセルで開催された東方パートナーシップ外相会合に出席。
- ・22日、ゲルマン大臣は、訪問中のブリュッセルにおいてエリヤヴェツ・スロベニア外相と会談し、モルドバの欧州統合分野における両国協力を活性化することで合意。また、同日、ゲルマン大臣は、コルラツェアン・ルーマニア外相、レペンテン・フランス欧州問題相とそれぞれ会談し、モルドバの欧州統合路線に関し協議。

▼ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領の来訪

- ・24日、ティモフティ大統領は、来訪したベルディムハメドフ・

トルクメニスタン大統領と会談し、農業及びエネルギー分野等における両国経済協力の活性化、文化、教育、観光及びスポーツ分野における両国共同計画等に関し協議。両大統領は、両国経済協力政府間委員会の活動の再開に関し合意し、文化及び税務分野の両国政府間覚書等に署名。

- ・24日、コルマン議会議長は、ベルディムハメドフ大統領と会談し、両国議会間協力の発展、青少年、スポーツ、教育、観光、エネルギー及び貿易・経済分野における共同計画等に関し協議。

▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相の訪露

- ・24日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、モスクワを訪問し、ラブロフ外相と会談。双方は、貿易・経済関係の発展、エネルギー及び人文分野における協力問題、出稼ぎ労働者の社会保障問題及び不法移民対策等に関し協議。沿ドニエストル問題に関しゲルマン大臣は、同紛争解決課程における同地域の政治的地位に関する協議の重要性を強調し、ラブロフ外相は、キシナウとティラスポリ双方に対し一方的行為を控えるよう呼びかけ。

4. 沿ドニエストル

- ・24日、ブラーシュ駐モルドバOSCE大使は、同日、700を超える放射線源の沿ドニエストル地域からの搬出が完了した旨発表。
- ・24日、レアンカ首相は、9月にシェフチューク「大統領」との会談を実施する意向である旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)